

取組の名称		狭山丘陵広域連携によるグリーンインフラの機能の発揮と地域課題の解決	
活動主体（団体名）		特定非営利活動法人 NPO birth	
活動主体（団体名）（フリガナ）		トクテイヒエイリカツドウホウジン エヌビーオーバース	
取組の内容 （自由記述）	①概要	狭山丘陵は都県境に位置し、6つの市と町にまたがる約3,500haの丘陵地であるが、広域的な視点で保全活用を推進する官民連携の体制が整っていなかった。そこで、中間支援を行うNPO birthの協働コーディネーターが中心となり、産官学民の連携体制を構築した。自然環境の保全活用、地域活性化、災害対策など、行政界を超える共通課題に取り組んでいる。	
	②取組内容を確認できるURL（または資料添付）	https://www.npo-birth.org/parkmanagement/activities03/ https://www.npo-birth.org/info/1071/ https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/content/000064600.pdf	
	③実施時期、頻度	通年	
	④活動場所（所在地）	東村山市、東大和市、武蔵村山市、瑞穂町に位置する6つの都立公園	
	⑤活動の規模（参加者数）	年間延べ7000人が活動に参加／連携した団体総数は約100団体	
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※		
	2022年6月5日	2024年1月25日	
対応する社会課題 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input checked="" type="checkbox"/> 子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート） <input checked="" type="checkbox"/> 都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現） <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成） <input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減） <input checked="" type="checkbox"/> 地域振興（東京全体の生産性、魅力向上） <input checked="" type="checkbox"/> 観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上） <input type="checkbox"/> 農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換） <input checked="" type="checkbox"/> 緑や水辺を生かした空間の創出／自然保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）	
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input type="checkbox"/> 供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（二酸化炭素の吸収） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み） <input type="checkbox"/> 調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加） <input checked="" type="checkbox"/> 文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（生息・生育環境の提供） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（光合成による酸素の生成） <input type="checkbox"/> 基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）	
貢献の内容 （自由記述）		<p>①人間の幸福に対して</p> <p>行政界や市民・行政・企業の立場の枠を超え、約100団体が連携することで、グリーンインフラの機能を最大限発揮させるための課題解決に取り組んでいる。</p> <p>地域課題を解決する多彩な事業（イベント開催、観光連携事業の実施、外来生物の情報収集等）を企画し、自然環境の保全回復・魅力の普及啓発、ブランディングによる地域振興を推進している。</p> <p>災害対策としては、ため池の面積拡張や新設を行ってゲリラ豪雨に備えている。この池は、平常時は自然湿地として生物多様性に寄与する。また、広大な樹林地を擁する公園では、周縁部幅10～20mの高木の伐採を進めている。倒木被害が人家や道路に及ばないように配慮するとともに、伐採した場所には良好な草地を創出し、生物多様性も両立させる計画である。</p> <p>環境教育にも力を入れており、子ども自らが自然のことを調べ、保全し、発信できるようになるための「キッズレンジャー育成プログラム」を展開している。子どもの生きる力を伸ばし、社会とのつながりの強化を促すことで健やかな育成をサポートしている。</p> <p>②生物多様性に対して</p> <p>東京都と埼玉県の6市町にまたがる丘陵地で、緑地の管理者や所有者も公民さままでであり、エリア全体の自然環境の保全が難しい。そこで2013年、NPO birthが構成員として参加している公園管理者「狭山丘陵パートナーズ」が事務局を担う形で「狭山丘陵広域連絡会」を発足させた。外来種問題やナラ枯れなど、行政界を超えて共通課題となっている事柄を話し合う場として位置づけた。主要メンバーは狭山丘陵パートナーズほか、公園管理者や大学である。必要に応じて、自治体や環境省、研究機関にも参加を呼びかけて活動している。</p> <p>これまでの実績として、特定外来生物であるキタリスの過去情報を集約し、環境省に提供したほか、目撃情報の収集に協力した。その結果、3年間でキタリスの生息数を8割削減し、早期防除に貢献した。</p> <p>また、アライグマ対策、ムネアカハラビロカマキリの分布拡大、ナラ枯れ問題などについて活発に情報交換や技術共有などを行っている。</p>	